

無形文化財 と芭蕉布

(参考) 芋績み (うーうみ) の様子

2024.

10.26_土

入場無料

14:00~16:00
(開場 13:30)

※ 会場内は、空調の影響で寒くなる場合があります。

講師 生田 ゆき 氏
(文化財第一課工芸技術部門 文化財調査官)

会場 沖縄県立博物館・美術館
博物館講座室

受付 当日先着 (定員 80 名)

お問合せ 098-941-8200
〒900-0006
沖縄県那覇市おもろまち 3-1-1

「無形文化財」とは何でしょうか? 「文化財」は耳にしたことがあったとしても、その前に「無形」とつくると、途端になじみが薄く感じてしまいます。この講座では、昭和25年に制定された文化財保護法を中心に、我が国の無形文化財の保護政策の変遷をたどりながら、「無形文化財」の保存の重要性と課題について考えていきたいと思います。また同時に、沖縄の伝統工芸の「芭蕉布」が、無形文化財として、どのように位置づけられ、評価されてきたかについても確認していきます。講座の中では、重要無形文化財に指定されている他の工芸技術の例もご紹介します。

※ 駐車場の混雑が予想されますので、公共交通機関のご利用をお願いいたします。

※ 席数に限りがありますので、ご入場いただけない場合があります。予めご了承ください。

【講師】 生田 ゆき (いくた ゆき) 文化庁 文化財第一課工芸技術部門 文化財調査官

滋賀県出身。1998年より愛媛県美術館の開設準備室から学芸員として勤務。2000年より三重県立美術館で数々の企画展を担当。

国内、海外に残る型紙の調査研究を重ね、2012年の「KATAGAMI Style」や「極小の宇宙手わざの粋」など、型紙の展覧会を企画監修。2017年より現職。

あなたの沖縄に出会う

